

# 令和4年度事務事業評価シート

## 【基本事項】

事務事業名	<b>健康運動施設の運営</b>			担当課名	教育こども課
(予算書コード)	10-05-04-12-01			担当係名	健康サポート係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	令和 3 年 4 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	下諏訪町健康運動施設条例、下諏訪町健康運動施設条例施行規則				

## 【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	子どもから高齢者まで幅広い年代の地域住民に対し、健康スポーツゾーン、健康ステーション、健康フィールドの利用を促し、健康づくりやスポーツを通じた、町民の心身の健全な発達や維持を支援する。またこのために、施設、設備の適正な管理運営を図る。						
事業の活動成果  (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	健康ステーションの利用者数	年間の利用者数	人	目 標	6,500	6,500	6,500
				実 績	4,256	6,674	
				達成率	65.5%	102.7%	

## 【投入されたコスト・業務量】

		令和3年度決算		令和4年度決算		令和5年度予算		
事業費	事業費 A	11,856 千円		12,541 千円		12,150 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	1.00 人	2,176 千円	1.50 人	3,622 千円	2.00 人	4,328 千円	
	正規職員人件費 B	1.75 人	11,579 千円	1.25 人	8,211 千円	1.25 人	8,473 千円	
事業費合計 C (A+B)		23,435 千円		20,752 千円		20,623 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担						
		県の負担						
		町の借入						
		その他	5,231 千円	3,884 千円		3,378 千円		
		うち 使用料・手数料 D	2,731 千円	3,859 千円		3,354 千円		
一般財源 (町の負担)		18,204 千円		16,868 千円		17,245 千円		
受益者負担率 (D/C)		11.654 %		18.596 %		16.263 %		

## 【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	B	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 検討の余地がある
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である
達成度	B	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値どおりである

総合評価	現状維持	現在の手法を維持するとともに、利用者要望等を把握し改善に繋げることで更に利用しやすい施設運営に努め、地域住民の健康づくりを支援する。
	手法改善	前年度供用開始となった健康ステーションは、新型コロナウイルスの影響等で利用が伸び悩んだが、2年目を迎え目標を達成することができた。

令和4年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	健康運動支援事業				担当課名	教育こども課
(予算書コード)	10-05-04-14-01				担当係名	健康サポート係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託		
事業の開始・終了	年 月 ~		年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)	
根拠法令等の名称	下諏訪町健康サポーター設置要綱					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	諏訪湖畔の健康スポーツゾーン及び高浜健康温泉センター、健康運動施設等を活用し、健康サポーターの協力により、主に町民を対象とした運動講座等を開催し、町民の健康づくりの機会の増進、運動習慣の形成を促し健康増進に繋げる。(※令和3年度新規事業)						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	健康スポーツゾーンを活用した講座開催回数及び参加者数	みずべフィットネス教室参加者数	人	目 標	160	160	160
				実 績	92	84	
				達成率	57.5%	52.5%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和3年度決算		令和4年度決算		令和5年度予算	
事業費	事業費 A	2,042 千円		2,604 千円		2,864 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	1.50 人	9,925 千円	1.50 人	9,853 千円	1.25 人	8,473 千円
事業費合計 C (A+B)		11,967 千円		12,457 千円		11,337 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	349 千円	452 千円	452 千円	452 千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	
一般財源 (町の負担)		11,618 千円		12,005 千円		10,885 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	C	協働を検討すべき 町民の健康増進を支援する事業であり、町が主体となって進める必要があるが、健康サポーターをはじめとした地域住民や、民間組織の協力も得る中で、より理想的な実施形態や役割分担についての検討が必要。
公平性	B	検討の余地がある 内容によっては申込みが集中し、希望者が受講できない講座もあり、受講者が偏ることなく、より多くの方に参加してもらうための工夫が必要である。
効率性	A	適切である 費用、人員については適切である。健康サポーターの協力により、多様な講座の開設するとともに、実施頻度を増やすことを目標とする。
達成度	C	目標値以下である 指標とする「みずべフィットネス教室」については、開始から8年が経過し受講者が減少傾向にあるため、内容の見直しが必要である。

総合評価	手法改善	指標としている、健康スポーツゾーンを活用した「みずべフィットネス教室」については、町民のニーズを把握したうえで、講座内容を見直すなど手法の改善が必要である。
	手法改善の内容	講座に新たな要素を加えるなど、内容の刷新を図り受講の増進に繋げる。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	手法改善	

# 令和4年度事務事業評価シート

## 【基本事項】

事務事業名	高浜健康温泉センターゆたん歩 <sup>o</sup> の運営				担当課名	教育こども課
(予算書コード)	10-05-04-10-01				担当係名	健康サポート係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託		
事業の開始・終了	平成 26 年 4 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	下諏訪町高浜健康温泉センター条例、下諏訪町高浜健康温泉センター条例施行規則					

## 【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	下諏訪町の財産である温泉を用いた高浜健康温泉センターの管理運営、歩行浴プールを活用した運動講座等の実施を通じ、町民の健康増進及び福祉の向上を図る。						
事業の活動成果  (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	高浜健康温泉センターの利用者数	年間の利用者数	人	目 標	47,000	47,000	47,000
				実 績	43,173	43,577	
				達成率	91.9%	92.7%	

## 【投入されたコスト・業務量】

		令和3年度決算		令和4年度決算		令和5年度予算		
事業費	事業費 A	33,805 千円		36,270 千円		33,463 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	2.00 人	6,335 千円	2.00 人	5,388 千円	2.00 人	5,853 千円	
	正規職員人件費 B	0.75 人	4,962 千円	0.75 人	4,927 千円	0.50 人	3,389 千円	
事業費合計 C (A+B)		38,767 千円		41,197 千円		36,852 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	12,899 千円		11,926 千円		15,076 千円	
		うち 使用料・手数料 D	11,568 千円		11,873 千円		15,024 千円	
一般財源 (町の負担)		25,868 千円		29,271 千円		21,776 千円		
受益者負担率 (D/C)		29.84 %		28.82 %		40.768 %		

## 【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である
達成度	C	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以下である

総合評価	手法改善	前年から続く新型コロナウイルス感染症に伴う、休憩室など施設の利用制限の影響により、入館者数が伸び悩むものの、徐々に回復基調が見えつつある。 引き続き、利用者数をコロナ前の水準に回復させるための取り組みが必要である。
	手法改善の内容	衛生管理など安心して利用してもらえる環境を維持するとともに、コロナ感染により休止していたイベント等の再開等により、利用者の呼び戻しを図る。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	手法改善	